

## 県に脳脊髄液減少症への支援求める

### 神奈川県「患者支援の会」ら

神奈川県の「脳脊髄液減少症患者支援の会」と「脳脊髄液減少症子ども支援チーム」は先ごろ、神奈川県庁を訪れ、黒岩祐治知事宛てに同症への支援充実を求める要望書を提出した。首藤健治副知事が応対し、公明党神奈川県議団（渡辺均団長）が同席した【写真】。

脳脊髄液減少症とは、交

通事故やスポーツ外傷などの衝撃によって、脳脊髄液が漏れ、頭痛や目まい、吐き気などの症状が発生する病気。患者らは、同症に対する医療・学校関係者の無理解や、それによって味わったつらい体験を訴え、①医療関係者を対象とした専門医による研修会②学校や家庭、地域に対する同症の情報提供③国に対する「無料相談窓口ほっとライン」設置の申し入れ——などを求めた。

首藤副知事は「要望を真摯に受け止める」と述べた。

